

経営比較分析表（平成30年度決算）

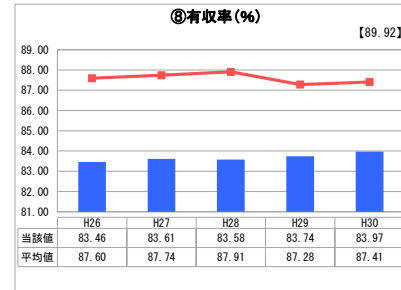
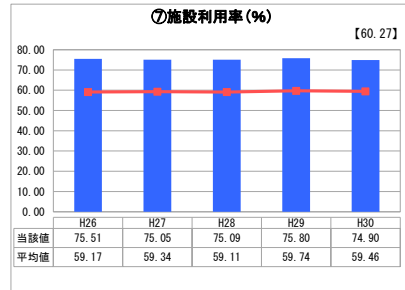
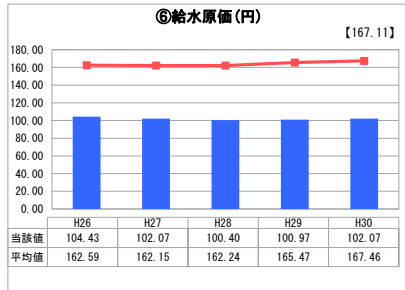
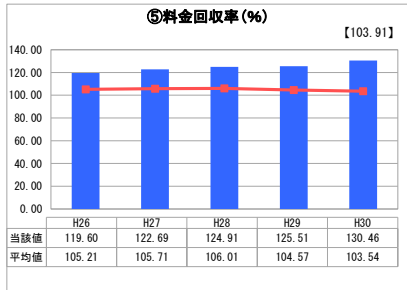
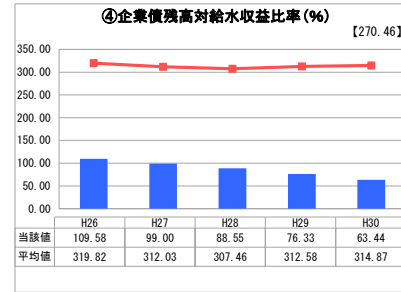
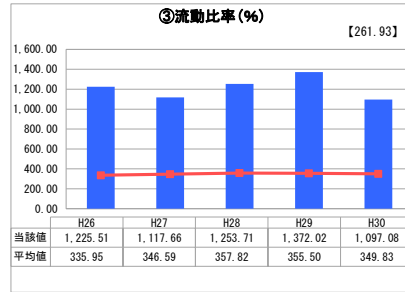
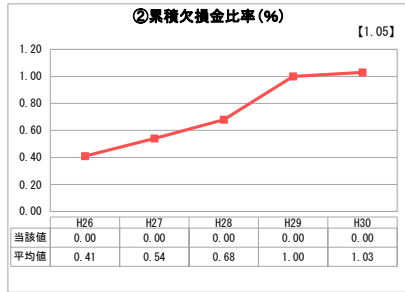
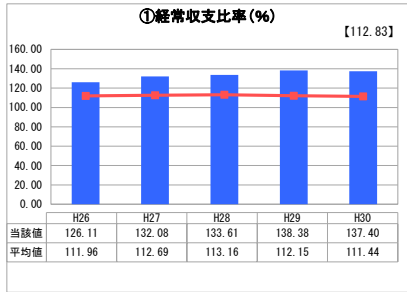
静岡県 御殿崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	91.41	94.53	2,320	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
88,856	194.90	455.91
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
83,426	71.30	1,170.07

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経営収支比率及び⑤料金回収率が100%以上であり、⑦施設利用率も高い。推移はそれぞれ横ばいであり、健全で効率的な経営が行われている。
 ②累積欠損比率は0%で、営業活動による損失が発生しておらず、収支は健全である。
 ③流動比率は、100%以上で全国平均・類似団体と比較しても高い数値であり、1年以内の支払債務に対して現金が十分であることを示している。
 ④企業債残高対給水収益比率は、全国平均・類似団体と比較して低い数値であり、減少傾向である。これは、企業債残高の規模が小さいことを示している。
 ⑥給水原価は、全国平均・類似団体と比較してやや安価であり、推移は横ばいである。他団体より少ない費用で給水していることを示しているが、管路等が老朽化しているため、今後は費用増加が推測される。
 ⑧有収率は、地質的に漏水が発見されにくいため、全国平均・類似団体と比較して低く、推移は横ばいである。今後も漏水調査や凍結破損対策を継続して行い有収率の向上に努めていきたい。

【数値の修正】

⑤料金回収率 誤) 130.46→正) 141.3
 ⑥給水原価 誤) 102.07→正) 94.3
 ※費用から他会計負担金を差し引くため

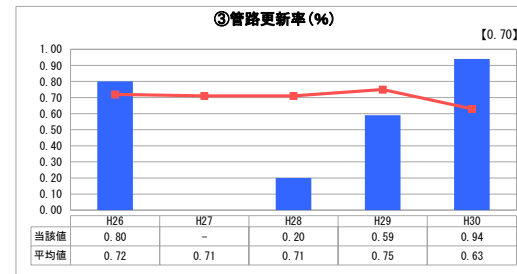
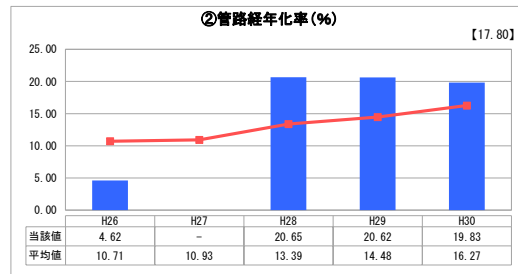
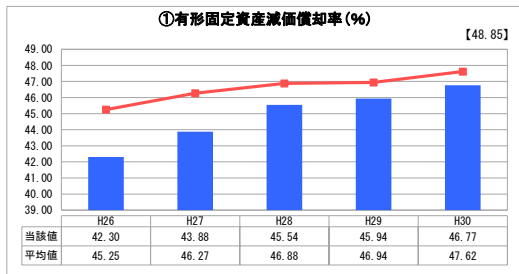
2. 老朽化の状況について

現在、第2東海自動車道建設工事に伴う管路更新が行われており、管路更新率が増加傾向にある。これに伴い、老朽管更新が一時的に減少しているため、類似団体平均値及び全国平均値に比べ、管路経年化率がやや高い傾向にあるが、第2東海自動車道建設工事が終わり次第、老朽管更新を計画的に進めていく。

(補足)

②管路経年化率のH27年度の当該値が表示されていませんが、正しくは5.60%です。
 ③管路更新率のH27年度の当該値が表示されていませんが、正しくは1.23%です。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営の健全性・効率性においては良好と考えられるが、管路の更新時期を迎えたため老朽管の更新費用の大幅な増加、人口の減少傾向に伴う給水収益の減少が見込まれる。今後も計画的に給水収益の確保と管路の更新に努めたい。